

中区では国籍やルーツによらず、一人ひとりが自分らしく暮らせるまちづくりを推進しています。生活習慣や文化の違いでとまどっている人がいたら、耳を傾け、できることから「ちょこっと、おてつだい」してみませんか？

ペットの 災害対策編

災害時に飼い主が備えることはもちろんですが、ペットの同行避難については地域の人の理解も必要となります。



吉田さん
(日本人)

スウェーデンでは、バスや電車に乗る際、ペットの犬をケージに入れなくても乗れるそうですね。



近所の山下さん
(お世話好き)

はい。飼い主の多くは犬のトレーニング教室に通い、しつけ方を学びます。犬がマナーを分かっている、周囲の理解もあるので、一緒に乗っても大丈夫なんです。

しつけは災害時でもとても役に立つでしょうね。



アンナさん
(スウェーデン出身)

日本の災害にはどう備えたらいいのでしょうか？



横浜市の避難所では、ペットをケージに入れることが原則です。災害時のペット対策のガイドラインや、飼い主向けの外国語版チラシが公開されていますので、参考にしてみてもいいかしら。



そうですね。ありがとうございます。



そういえばうちの地域で、ペットとの同行避難を希望する声があるのだけど、受け入れの取り決めなどどうすればいいのでしょうか？



既に取り決めをしている地域がいくつかあるから、参考になるかもしれないですね。区の福祉保健センターでも相談に乗ってもらえますよ。



それは助かりますね。



ペットを飼っている人もそうでない人も、みんなが安心して避難できると嬉しいです。



詳しくは

災害時のペット対策
(動物愛護センター)



地域防災拠点における
災害時のペット対策
(区役所環境衛生係)

